



よこすか市議会だより

No.52

令和6年(2024年)
4月30日号

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会議会局議事課]

横須賀市議会

検索

✕ pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行 横須賀市議会
編集 広報広聴会議



市民生活を守るための新年度予算を可決

能登半島地震における本市職員による災害派遣先での活動の様子。新年度予算では能登半島地震の状況を踏まえ、備蓄品等の拡充、救助体制の強化、訓練環境の整備などの充実を図るため、予算が編成されました。

3月定例議会

2月14日から3月26日の期間で3月定例議会を開催しました。
主に市長から出された令和6年度の施政方針と、それに伴う予算を審議する定例議会です。

施政方針では、行政の役割とは何なのか、という原点に立ち返り、市民生活を守り福祉を充実させ「誰も一人にさせないまち」へ推進させるための予算であることが述べられました。

令和6年度の一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算総額は、昨年度より209億円増の3,488億円、そのうち一般会計は昨年度より79億円増の1,689億円という予算案で、これに対し、各会派は代表質問を、無会派議員は個人質問を行い、市長、上下水道局長、消防局長、教育長と議論を交わしました。(質問項目を3面に掲載)

その後、4つの予算決算常任委員会分科会に分かれて、所管部局ごとに詳細な審査を行い、本会議にて賛成及び反対の討論があり採決の結果、全て可決しました。

最終日には追加議案として、浦賀駅前周辺地区活性化事業に関する補正予算等が提出され、所管の委員会でも審査を行い、本会議で採決の結果、可決しました。

また、提出された請願1件と陳情2件は、各常任委員会において審査し、請願は本会議で採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

このほか、厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書を国に提出しました。(審議結果を4面に掲載)

能登半島地震を受けて見直された新年度予算を審査

元日に発生した能登半島地震を受け、大規模災害に備えた対策を強化するため、急遽編成し直した新年度予算案が提出されました。

テント、簡易ベッド、毛布、携帯トイレ、和式トイレの洋式化ユニットといった震災時避難所の備蓄物資の充実、自主防災組織が整備する防災器材などの補助対象の拡大や、購入経費の補助率引き上げ、全ての消防署への災害対応用ドローンの配備、近年の火災の変化に対応するための消火訓練用模擬家屋や倒壊家屋からの人命救助訓練を行うことができる設備の導入など、将来に向けて強い危機感を意識した予算編成となっており、これらについて幅広く質疑を行いました。

主な質疑

問 避難所運営訓練を行う際に、テントを使用した

時のレイアウトを再度検討する必要があるのではないかと。

答 来年度の訓練の際に確認し、避難所運営マニュアルに落とし込むようにしたい。

問 毛布はどこに備蓄するのか。震災時に取りに行けるような場所か。

答 現在、関係部局と調整中だが、可能な限り震災時避難所に近い場所に備蓄していきたい。

問 携帯トイレを自宅で使用する場合に、震災時避難所以外の行政センター等各公共施設にも備蓄してはどうか。

答 既に風水害避難所や帰宅困難者一時滞在施設等には備蓄しているが、備蓄量の配分については検討していきたい。

問 和式トイレの洋式化ユニットはどのような観点から今回の仕様で決めたのか。

答 洋式トイレでないと携

帯トイレを取り付けられないため、震災時避難所の全ての和式トイレで携帯トイレを使用できるように、今回携帯トイレとあわせて導入する。

問 車椅子使用者に配慮した防災対応力の高い学校トイレづくりについて、教育委員会と市長室の間で連携して進めることにする所見を伺いたい。

答 予算に限りはあるが、今後、地域防災計画検証特別委員会の中で、現在不足している部分について総合的な議論をしていきたい。

問 消火訓練用模擬家屋等によってどのような訓練が可能になるのか。

答 近年普及している高気密、高断熱性の一般住宅での火災発生時や倒壊家屋からの立体的な救助等を想定した、実践的な訓練が可能となる。

問 解体予定の市公共施設等の情報収集を行い、消防力の強化に努めていたが、いかがか。

答 より実践的な訓練を補完するため、今後もそういった施設を使用して訓練を実施していきたい。

問 災害対応用ドローンを平時も活用することに関して各部局間の連携等の考えはあるか。

答 現時点では考えていないが、他部局とどういった関わりを持てるか、今後検討していきたい。



消火訓練用模擬家屋



災害対応用ドローン

三笠公園集客・交流拠点機能 拡充事業について審査

三笠公園は、設備の老朽化が進み、また、公園の奥側エリアは大規模イベント実施以外は来園者が少ない状況です。

そこで、民官連携を軸とした同公園のリニューアルにより、新たな魅力



三笠公園

主な質疑

問 総事業費として約19億円をかけるということだが、人を呼び込む戦略をどのように考えているのか。

答 昨年10月にPARK CHALLENGE@MIKASAとして様々なイベントを開催し、三笠公園は人を呼び込むポテンシャルが相当あるこ

市内道路・公園照明灯LED化 ESCO事業について審査

行いました。

主な質疑

問 道路照明灯のLED照明への交換対象数と交換期間は。

答 維持管理対象4,744灯のうち、まだLED化していない4,181灯を令和6年度中に交換する。

問 公園照明灯も道路照明灯と同様に市内全域をLED化するのか。

答 維持管理対象1,586灯のうち、デザインを凝らした公園の照明灯などを除いた1,473灯をLED化する。

とを感じた。改修工事では公園の一番奥にある音楽噴水の跡地に大きなイベントもできる多目的広場の設置を考えており、次期指定管理者にイベント時以外でも人が集まれるコンテンツ等を提案いただければと思っている。

問 横須賀市の中心市街地にはヴェルニ公園、三笠公園、海辺つり公園と近接して大きな3つの公園がある。その3公園の運営についてどのようなビジョンを持っているのか。

答 これまで3公園については、同じ指定管理者が一体的な管理を行い、連携して中心市街地の活性化を図ってきた。今回、三笠公園がこの指定管理

1か月児健康診査費用の 助成事業を審査

1か月児健康診査は、乳児の健康の保持及び増進、重篤な身体疾患の早期発見等のための大切な健康診査ですが、現在は健康保険の対象ではないため、その費用は全額自己負担となっています。

既に助成制度のある産婦健康診査と同様に躊躇なく積極的に受診できるように支援するため、新たに1か月児の健康診査費用

から抜けるが、新たな事業者を公募する際にもこの連携により活性化を図る視点を持って進めたいと考えている。

主な質疑

の助成制度（一人当たりの上限額4,000円）を設け、子育て世帯の経済的な負担の軽減を図ります。

問 これまではどれくらいのお子さんが1か月児健診を受診されていたのか。

答 今までは出産後のお母さんが1か月後に受診するときに、一緒に自由診療の中で受けられている実績としては自由診療の中なので正確にはつかみづらいが、恐らく1か月児健診もほとんどの方が受けていただいているの

知名度アップ！「よこすか野菜 魅力発信事業」について審査

よこすか野菜のブランド力向上に取り組み、市外消費の拡大や市内への集客増加を図るため、新年度は、ブランドイメージ創出に向けたプロモーションや市内生産者と都内飲食店などの交流機会の創出等に係る予算が新規で盛り込まれ、委員会

で審査を行いました。

問 プロモーション事業の具体的な内容は。

答 首都圏での認知を広めるため、トレンドに敏感で発信力の強い若い女性

主な質疑

の力を活用して、情報拡

散を図っていく。認知度を拡大する上での課題抽出やマーケティング、コンテンツの制作を行うなど、広告等によるプロモーションをトータルで実施していく。

問 農水産業における所得の推移等の現状分析が不足していないか。現場に職員を行かせて課題を共有しないと、解決につながらないのではないか。様々な事業が生かされるように今後も検討していただきたい。

答 所得を数字としては把握できていないが、単位面積あたりの収入の標準



ふれあいサポート券事業を審査

主な質疑

問 現段階での利用者の数や利用状況は。

答 令和4年度の交付枚数は17万9,68枚で、使用枚数は7万4,436枚。

問 利用率は50%ぐらいだが、利用率を上げるため今回新たに利用できる施設が選ばれた経緯は。

答 入浴以外の選択肢を用意したかった。また、この券を健康増進や生きがいにつながる利用券にしたかった思いがある。

問 民官連携によりさらにプログラムの充実を図っていたきたいが、いかがか。

答 今後の課題だと考えている。

新婚さんいらっしやい！「結婚 新生活支援事業」について審査

市では、国の「地域少子化対策重点推進交付金」等を活用し、市内の新婚世帯に経済的支援を行います。

令和6年4月1日から令和7年3月31日までに婚姻届を提出された方、または、本市独自の要件として、パートナーシップ宣誓証明を受けた方が対象で、①申請日にいず

れか一方の住民登録が本市にあること②共に婚姻日の年齢が39歳以下であること③合計所得が500万円未満であるこ

主な質疑

委員会では、補助対象や内容について幅広い質疑がなされました。

問 補助金の支給を受けてから仮に引越してしまつた場合はどうなるのか。

答 宣誓書において、3年間の市内居住を義務付ける予定だが、引越してしまつた場合の追跡までは至らない。

問 今後対象年齢の拡大も検討するといった答弁があったが、むしろ若い世代への補助金をさらに手厚くした方が、若い世代の結婚につながるのではないか。

答 国においてもこの制度の開始以降、所得条件を引き上げるなど試行錯誤を重ねてきた。本市も一年間かけて実施する中で、市民の声や財政状況とのバランスを考えながら検討したい。

地域防災計画検証特別委員会を 設置しました

私たちが住む横須賀市は、三方を海に囲まれ、三浦半島断層群のうち北側には衣笠・北武断層帯が、南側には武山断層帯が存在しています。政府の地震調査委員会によると、平成23年に発生した東日本大震災後、本州の東側の地盤がゆるやかに東へ動く地殻変動が続いているために、三浦半島断層群活断層での地震の危険性がこれまでより高まっている恐れがあるとされています。

そのような中、今年元日に発生した「令和6年能登半島地震」は、最大震度7を観測し、津波や道路の寸断、水道管の破裂など、甚大な被害をもたらしました。

本市議会では、東日本大震災を機に、防災体制等整備特別委員会を立ち上げ、地域防災計画の全面的な見直しを図り、改訂に向けて尽力した経緯がありますが、このたび半島という同じ地形的特徴を持つ地域での被害の実情を目の当たりにし、現在の本市における防災対策が真に実効性のあるものとなっているか、改めて検証する必要があると考えました。

能登半島地震をはじめ、各地で頻発する大規模地震においては、その都度自治体の対応の在り方がクローズアップされています。

いつ起きるともわからない災害に確実に対応するため、私たちは地域防災計画検証特別委員会を設置し、スピード感をもって議論を重ね、災害に強いまちづくりを目指してまいります。



地域防災計画

地域防災計画検証特別委員会名簿			
〈委員長〉田辺昭人		〈副委員長〉石山 満	
大貫次郎	西郷宗範	南まさみ	小幡沙央里
高橋英昭	長谷川昇	菅原恵美子	大村洋子

スポーツ振興検討協議会が始動

本市ではスポーツを核としたまちづくりを推進していますが、このたび、市議会でもスポーツ振興検討協議会を設置しました。本協議会はスポーツの振興に関する施策の基本となる事項やスポーツの推進を図るための環境整備等を検討し、市民の誰もが生涯にわたりスポーツを楽しみながら健康で心豊かな生活を送ること及びスポーツによる地域の活性化に寄与することを目的としています。

1月の会議から本格的な協議が始まり、まず議論すべき項目を明確にしていくため、本市におけるスポーツの現状や課題、スポーツに関係・関連する団体等について各委員の認識を共有しました。競技人口の減少対策から経済効果の創出、障害者スポーツの充実、ルールやマナーの啓発等までその内容は多岐に渡ります。

今後はスポーツを「する」「みる」「ささえる」の視点に基づき、本市の関連部局より順次ヒアリングを行うとともに、必要に応じて市民・有識者からの意見聴取や他都市の調査を実施することも検討しています。最終的には本市におけるスポーツに関係する各種課題解決や、更なる振興を図るための条例制定等を見据えて活発な議論を進めていきます。

スポーツ振興検討協議会名簿		
〈委員長〉加藤真道		〈副委員長〉二見英一
山本けんじゅ	竹岡 力	菅原恵美子
井坂 直	安川健人	天白牧夫

3月定例議会 代表質問・個人質問

発言通告の全文はこちら➡



自由民主党
渡辺光一



- ①災害時、迅速な仮設住宅設置に向けた体制作りについて
- ②防災協定や災害緊急協力に当たる事業者の役割について
- ③消防職員らへの災害出動手当見直しについて
- ④災害時の応急給水体制や他都市からの応援体制について
- ⑤観光収益で福祉を増進するとした効果検証について
- ⑥廃止する公共施設の売却を所管する組織の見直しについて
- ⑦都市計画マスタープランに沿った企業誘致について
- ⑧海外企業の積極的な誘致について
- ⑨自衛隊施設の再整備における地元企業の参画について
- ⑩耕作放棄予備軍の情報共有を含む農業振興について
- ⑪港湾計画見直しの進捗状況と今後の取組について
- ⑫うわまち病院跡地における医療系大学の在り方について
- ⑬住友重機械工業浦賀工場跡地及びレンガドック周辺エリアを含む今後の展望について
- ⑭大矢部弾庫跡地整備に係るコンセプトについて
- ⑮介護業界の人手不足解消について
- ⑯農福連携事業による遊休地や施設跡地の活用について
- ⑰横須賀美術館の開館20周年への考えと準備について
- ⑱健康遊具設置やトイレ改修等、公園の環境整備について
- ⑲学校統廃合による通学路の安全対策と跡地利用について
- ⑳公共施設における政治活動や集会の料金設定について
- ㉑市民の安全を優先し、街路樹整備を進めることについて
- ㉒都市間交流と郷土愛の醸成について

よこすか
未来会議
堀りょういち



- ①「誰も一人にさせないまち」の実現への指標化について
- ②廃止も含めた既存事業の見直しの強化について
- ③デジタル・ガバメントの推進について
- ④「子どもの居場所」を全庁的に推進することについて
- ⑤放課後児童対策について
- ⑥不登校対策の見直しの方向性と進捗について
- ⑦全天候型の遊び場の創出について
- ⑧教職員の働き方改革の推進について
- ⑨ジェンダー平等の観点からの災害対応について
- ⑩観光立市推進について
- ⑪関係人口増に向けた取組について
- ⑫空き家になる「前」の空き家対策の推進について
- ⑬新規就農・農地対策の推進体制の構築について
- ⑭障害者雇用の推進について
- ⑮高齢者のウェルビーイング向上に向けた施策について
- ⑯市民病院の建て替えを検討することについて

公明党
川本 伸



- ①施政方針と災害対策及び福祉への予算編成について
- ②災害時一人で避難が難しい方の個別避難計画について
- ③災害時でも通信が可能なスターリンクの導入について
- ④带状疱疹ワクチン接種費用の助成について
- ⑤RSウイルス感染症ワクチン接種費用の助成について
- ⑥公共施設等へのバリアフリー化の推進について
- ⑦アフターコロナのフレイルからの脱却について
- ⑧アフターコロナの認知症施策を講じることについて
- ⑨放課後等デイサービスの支援の質の向上について
- ⑩電動車に関する施策及び充電設備の導入について
- ⑪JAよこすか葉山長井支店の跡地活用について
- ⑫行政のDX推進における郵送費の節約について

日本共産党
井坂 直



- ①補聴器助成・学校給食無償化の取組を行ってはいかがが
- ②公園プールの廃止で子どもたちの水泳授業などに影響は
- ③小学校統廃合。合意形成が不十分な形で進めるのは問題
- ④原子力災害に備えて、本市も安定ヨウ素剤の事前配布を
- ⑤職員全体の4割にあたる会計年度任用職員の災害対応は

日本維新の会
安川健人



- ①フェーズフリー・備えない防災について
- ②横須賀市におけるドローン活用の可能性について
- ③環境政策・脱炭素、自然資本を守る取組について

藤野英明



- ①AYA世代がん患者の妊孕性温存治療の受診促進策
- ②総合医療センター直通の新バス路線開設の要望の必要性

天白牧夫



- ①人々の暮らしを守るネイチャーベースドソリューションズ(NbS)を取り入れた自然環境政策の展開について

令和6年3月定例議会

審議結果

○=賛成、×=反対

賛否が分かれた議案	会 派					無会派	
	自由民主党	よこすか未来会議	公明党	日本共産党	日本維新の会	天白牧夫	藤野英明
	14人	10人	7人	3人	2人		
令和5年度横須賀市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	×	○	○	○
公園水泳プールの指定管理者の指定期間の変更について	○	○	○	×	○	○	○
令和6年度横須賀市一般会計予算	○	○	○	×	○	○	×
令和6年度横須賀市特別会計国民健康保険費予算	○	○	○	×	○	○	○
令和6年度横須賀市特別会計介護保険費予算	○	○	○	×	○	○	○
令和6年度横須賀市特別会計後期高齢者医療費予算	○	○	○	×	○	○	○
令和6年度横須賀市水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○
令和6年度横須賀市下水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○
令和6年度横須賀市病院事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○
(仮称)北こども園設計事業者選考委員会条例制定について	○	○	○	×	○	○	○
三笠公園集客・交流拠点機能拡充事業整備運営事業者選考委員会条例制定について	○	○	○	×	○	○	×
横須賀市個人番号の利用に関する条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○
職員定数条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○
企業立地等促進条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○
コミュニティセンター条例等中改正について	○	○	○	×	○	○	○
老人デイサービスセンター条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○
横須賀市国民健康保険条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○
横須賀市介護保険条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○
指定管理者選考委員会等条例中改正について	○	○	○	×	○	○	×
都市公園条例等中改正について	○	○	○	×	○	○	×
三笠公園ほか2箇所及び横須賀市立うみかぜ公園ほか1箇所の指定管理者の指定期間の変更について	○	○	○	×	○	○	×
令和5年度横須賀市一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	×	○	○	○

※**その他議案26件については、全会一致で可決、同意しました。**詳細は市議会ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。

※議長は、議事を取り仕切る立場から、採決には加わりません。

会派所属議員名

令和6年3月26日現在

- 自由民主党

加藤眞道 南まさみ 青木哲正 青木秀介 田辺昭人 松岡和行 大野忠之(議長) 渡辺光一 西郷宗範 山本けんじゅ 大貫次郎 池田徳重 高橋いずみ 泉谷 翔
- よこすか未来会議

高橋英昭 加藤ゆうすけ 伊関功滋 小幡沙央里 工藤昭四郎 小林優人 竹岡 力 長谷川昇 葉山なおし 堀りょういち
- 公 明 党

土田弘之宣 石山 満 関沢敏行 本石篤志 二見英一 川本 伸 菅原恵美子
- 日 本 共 産 党

大村洋子 井坂 直 ふじそのあき
- 日本維新の会

安川健人 ひろなか信太郎

請願・陳情

件 名		結 果
請願	小学校の統廃合において住民との合意形成を十分に行うことについて	不採択
陳情	横須賀共済病院新棟建築において新棟2棟を高さ31メートル以下の建築物とすることについて	審査終了
	FLT制度を廃止しその予算を生徒の教育やALT及び臨時的任用職員の待遇改善に割り当てることについて	趣旨不了承

「審査終了」とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

意見書

件 名	結 果
厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出について	可決(賛成多数)

編集後記



市立横須賀総合高校生徒との広報広聴会を4月23日に開催しました。若い世代も議会に関心をもってくださるよう、横須賀市議会は今後も積極的に意見交換の場を設け、市民からの政策提案の機会の拡大に努めます。

編集：広報広聴会議(◎=委員長、○=副委員長)◎大貫次郎／○加藤ゆうすけ／池田徳重／渡辺光一／松岡和行／竹岡 力／長谷川昇／川本 伸／土田弘之宣／ふじそのあき／天白牧夫



横須賀市議会公式X(旧Twitter)は下の2次元コードから！



令和6年6月定例議会の予定

開催日	会議名
6月 6日(木)	議会運営委員会
6月 7日(金)	本会議、予算決算常任委員会(本会議終了後)
6月12日(水)	民生常任委員会(予算決算分科会) 都市整備常任委員会(予算決算分科会)
6月14日(金)	総務常任委員会(予算決算分科会) 環境教育常任委員会(予算決算分科会)
6月19日(水)	議会基本条例検証特別委員会 地域防災計画検証特別委員会
6月21日(金)	予算決算理事会、予算決算常任委員会(11時～)
6月25日(火)	議会運営、本会議(14時)

6月10日(月)・13日(木)・17日(月)・20日(木)・24日(月)は予備日です。インターネットで中継もご覧になれます。(本会議は手話通訳も同時に行っています。)

時間の記載がないものは10時開会。開会日時は変更される場合があります。傍聴のご案内など最新の状況は市議会HPか議事課でご確認ください。

よこすか市議会ガイドの発行について

横須賀市議会は、これまで多くの皆さまに市議会の仕組みや運営、議員活動などを知っていただけるように、この情報を1冊にギュッとまとめた情報誌を発行してきました。第7版となる今回は、導入部分で市議会が何を行っているのかについて、中学校の授業形式で紹介しています。

情報誌には写真や図を多く取り入れてより親しみやすく、分かりやすい内容となっております。ご覧になった皆さまが市議会をより身近に感じていただき、関心を持っていただくきっかけになれば幸いです。





「よこすか市議会だより」は79,000部製作し、1部当たりの印刷経費は7.2円です。

よこすか市議会だよりは、紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて製作しています。

UD

FONT